



株式会社フコク(東証プライム:5185)

2024年11月15日

第2四半期決算説明会

2025年3月期



Yes, We Do!

1. 決算のポイント
2. 2025年3月期第2四半期実績
3. 2025年3月期通期業績予想
4. セグメント別・地域別の状況
5. 株主還元
6. 新中期経営計画2026の進捗

1. 決算のポイント



1. 決算のポイント

2025年3月期第2四半期実績

売上高は、自動車メーカーの生産台数伸び悩みの影響を受けるも、インド、米国の売上伸長及び為替の影響により **増収**

営業利益は、資源価格高騰による原材料費上昇等の影響を受けるも、合理化や変動対応等により **増益**

2025年3月期通期予想

不安定な海外情勢の継続、世界的な金融政策の見直し、資源価格高騰等が続くことを想定
生産工程の合理化、変動対応等の更なる採算改善努力の継続により収益力の最大化を図る

売上高**930億円****営業利益****48億円 の公表値を据え置く**

配当

中間配当は、当初計画通り37.5円

期末配当は、当初計画37.5円を据え置きし、通期で75円を計画

2. 2025年3月期第2四半期実績

2. 2025年3月期第2四半期実績

業績概要

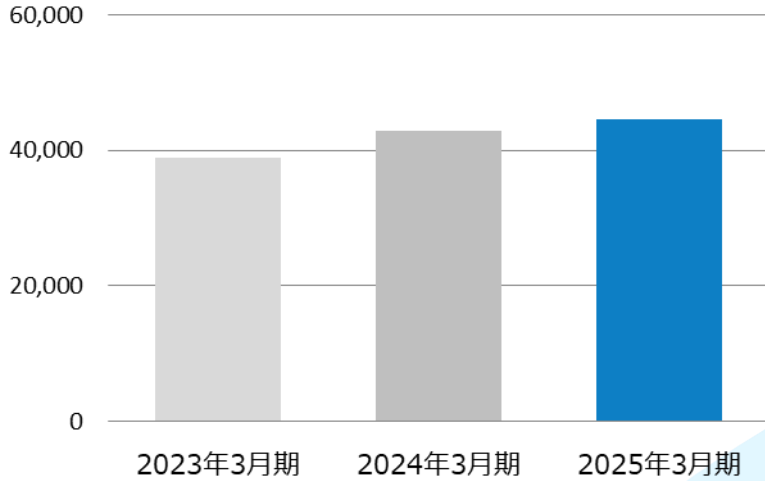
(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	前年増減額	前年増減率
	第2四半期 実績	第2四半期 実績		
売上高	42,950	44,585	+1,635	3.8%
営業利益 (売上高対営業利益率)	1,059 (2.5%)	2,060 (4.6%)	+1,001 (+2.1pp)	94.5%
経常利益 (売上高対経常利益率)	1,390 (3.2%)	2,221 (5.0%)	+831 (+1.8pp)	59.8%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	1,047 (2.4%)	1,542 (3.5%)	+495 (+1.1pp)	47.2%

※pp=パーセンテージポイント

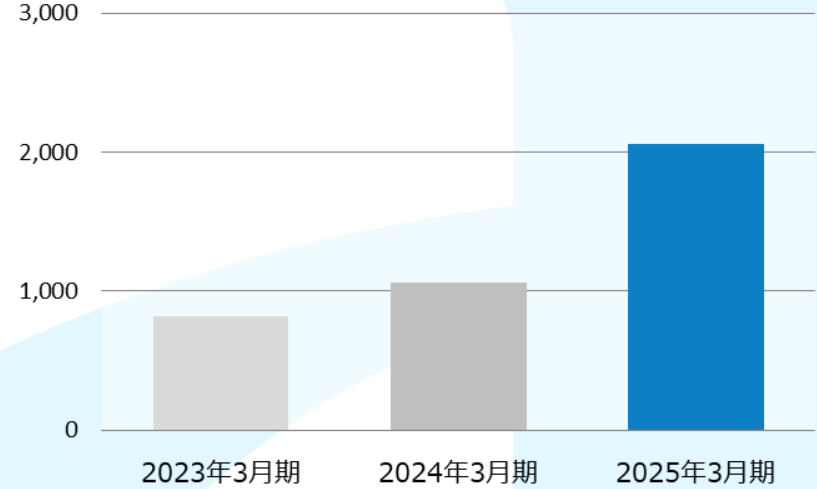
2. 2025年3月期第2四半期実績

経営実績推移 (上期)
売上高

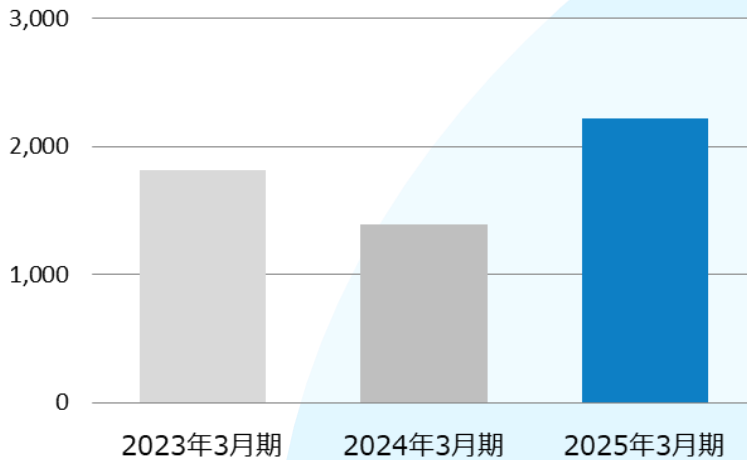


(単位：百万円)

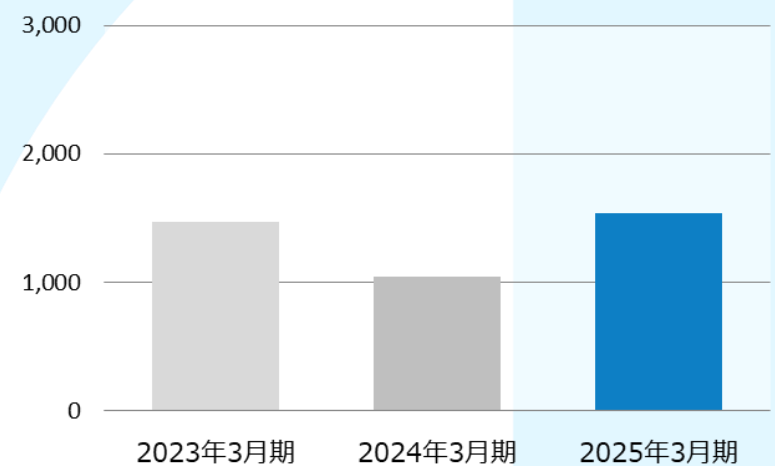
営業利益



経常利益



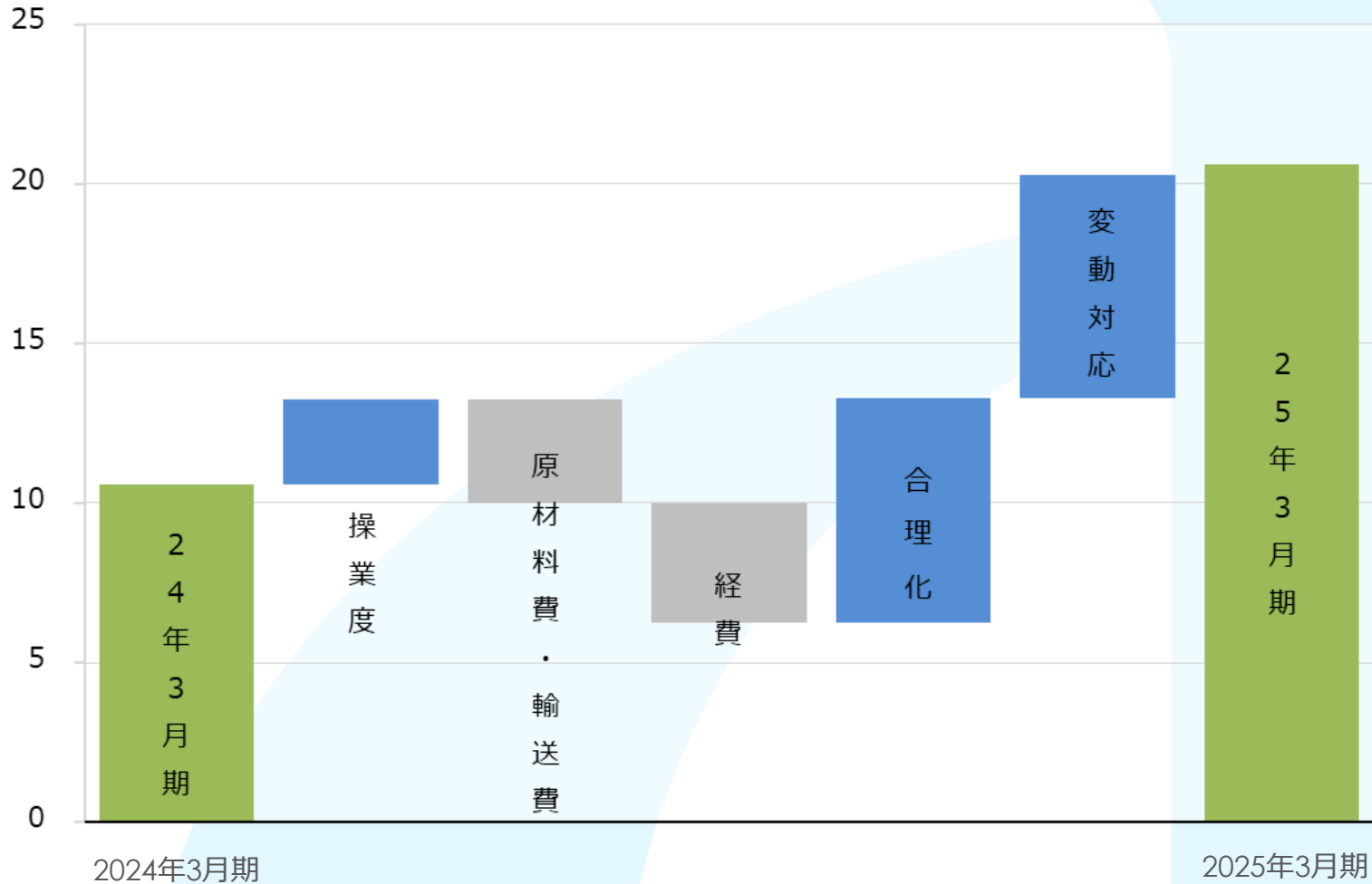
当期純利益



2. 2025年3月期第2四半期実績

差異要因 営業利益（前期比）

（単位：億円）



2. 2025年3月期第2四半期実績

財政状態、キャッシュ・フロー概要（連結）

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2024年9月期 実績	前年増減額
現金及び預金	12,011	11,289	△ 722
受取債権	20,591	20,640	49
棚卸資産	11,427	11,867	439
その他流動資産	1,686	1,677	△ 9
流動資産計	45,718	45,475	△ 243
有形固定資産	26,695	28,729	2,033
その他固定資産	3,619	4,037	417
固定資産計	30,315	32,766	2,451
資産計	76,033	78,242	2,208
借入金	11,525	12,572	1,046
支払債務	12,330	9,799	△ 2,531
その他流動固定負債	10,167	10,311	143
負債計	34,023	32,682	△ 1,341
株主資本計	34,780	35,807	1,027
非支配持分	2,472	2,614	141
その他	4,757	7,137	2,380
純資産計	42,010	45,559	3,549
負債・純資産計	76,033	78,242	2,208

	2023年9月期 実績	2024年9月期 実績
税前利益	1,390	2,387
減価償却費	2,208	2,404
売上債権の増(△)減(+)	△ 282	941
棚卸資産の増(△)減(+)	439	168
仕入債務の増(+)減(△)	△ 27	△ 2,941
その他	△ 32	△ 885
営業活動によるC F	3,695	2,074
有形固定資産の取得	△ 1,808	△ 3,351
その他	△ 206	△ 4
投資活動によるC F	△ 2,014	△ 3,356
借入れによる収入	1,159	2,305
借入金の返済による支出	△ 1,570	△ 1,582
その他	△ 448	△ 633
財務活動によるC F	△ 860	89
フリー・キャッシュ・フロー	1,680	△ 1,281

- 有形固定資産取得により現金及び預金が減少し、借入金増加
- 前期末が金融機関休日のため、未決済の支払債務が含まれていた影響で支払債務が減少

- 有形固定資産の取得による積極的な投資
- 仕入債務の減少は前期末の金融機関休日によるもので影響は一時的

3. 2025年3月期通期業績予想

3. 2025年3月期通期業績予想

業績予想

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	前年増減額	前年増減率
	実績	予想		
売上高	88,847	93,000	+4,153	+4.7%
営業利益 (売上高対営業利益率)	3,646 (4.1%)	4,800 (5.2%)	+1,154 (+1.1pp)	+31.6%
経常利益 (売上高対経常利益率)	4,094 (4.6%)	4,800 (5.2%)	+706 (+0.6pp)	+17.2%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	3,050 (3.4%)	3,750 (4.0%)	+700 (+0.6pp)	+22.9%

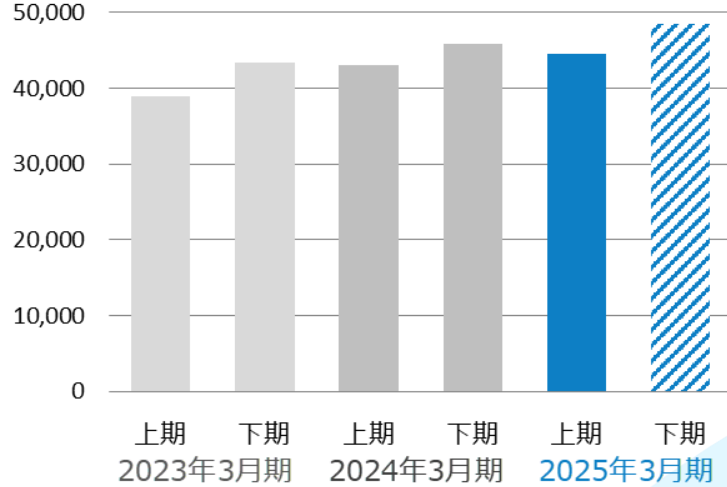
※pp=パーセンテージポイント

3. 2025年3月期通期業績予想

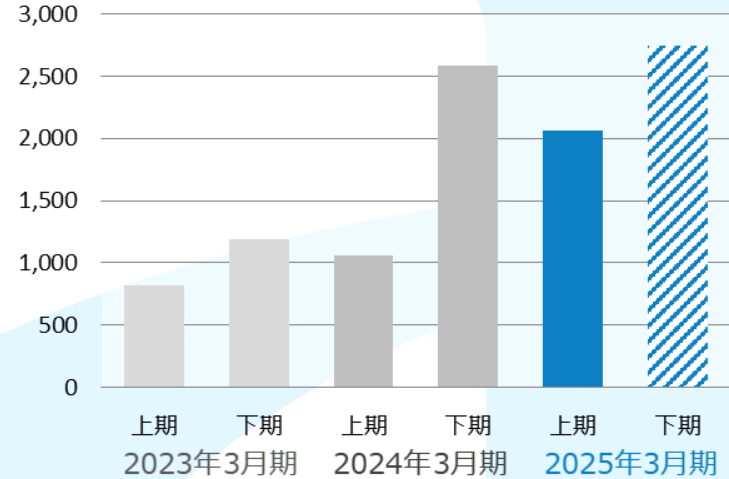
経営予想推移

(単位：百万円)

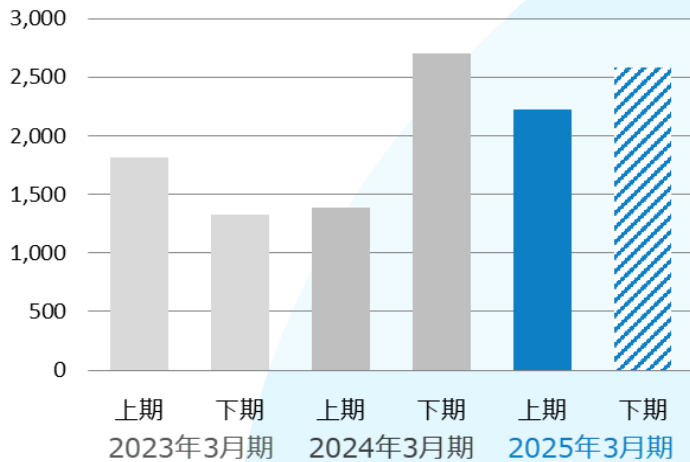
売上高



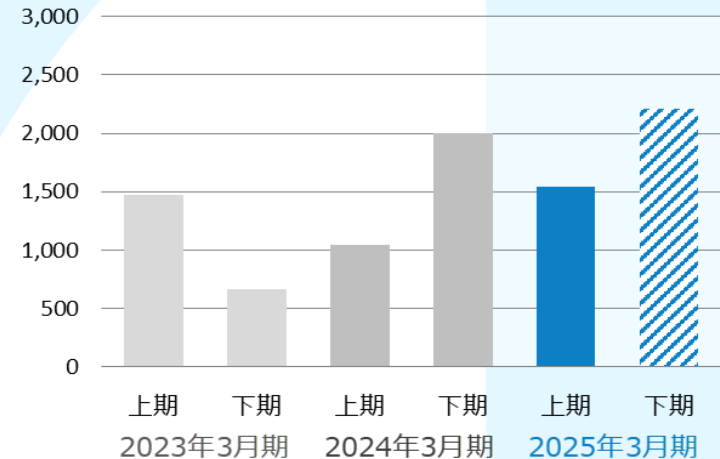
営業利益



経常利益



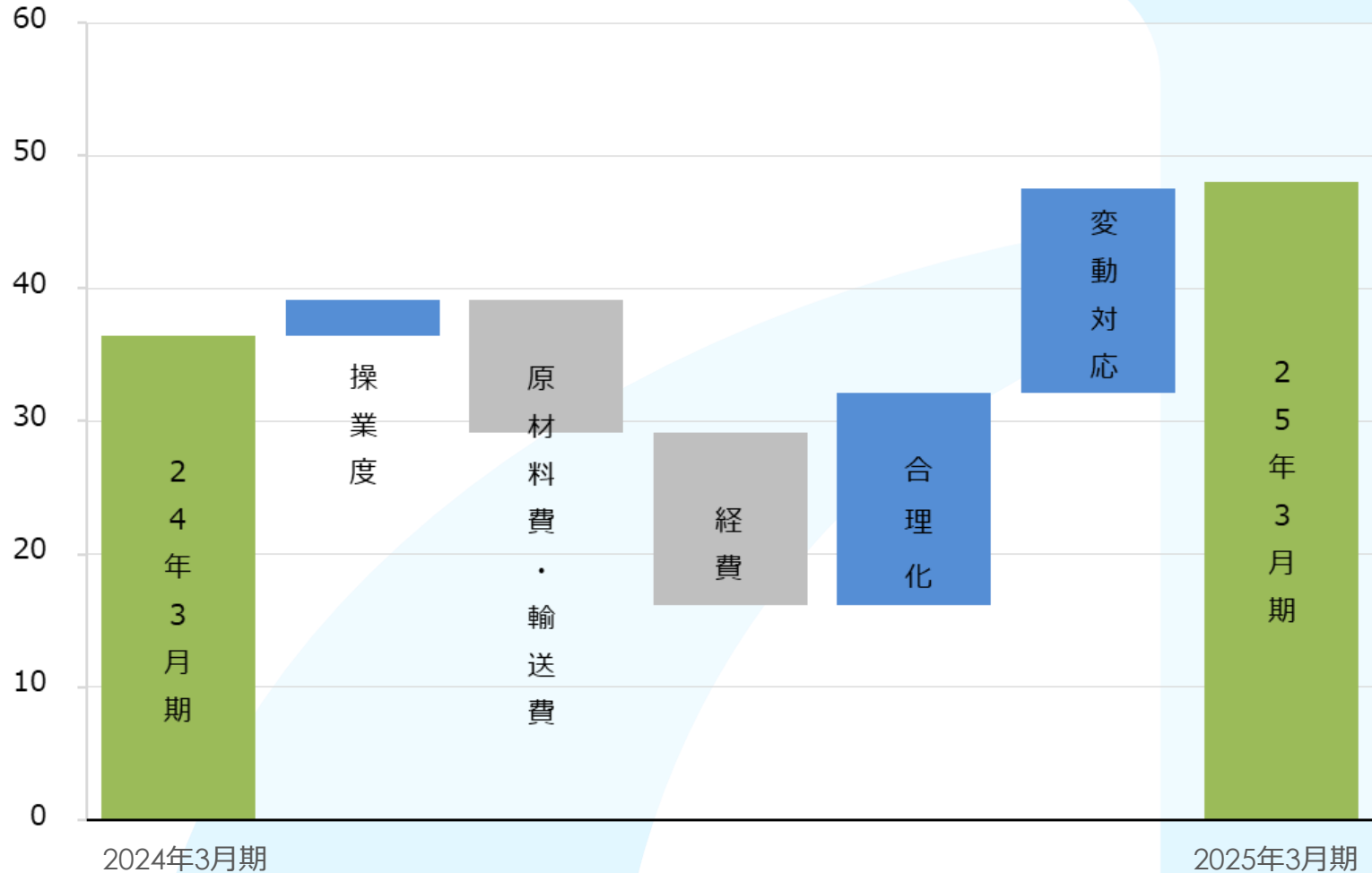
純利益



3. 2025年3月期通期業績予想

差異要因 営業利益（前期比）

（単位：億円）



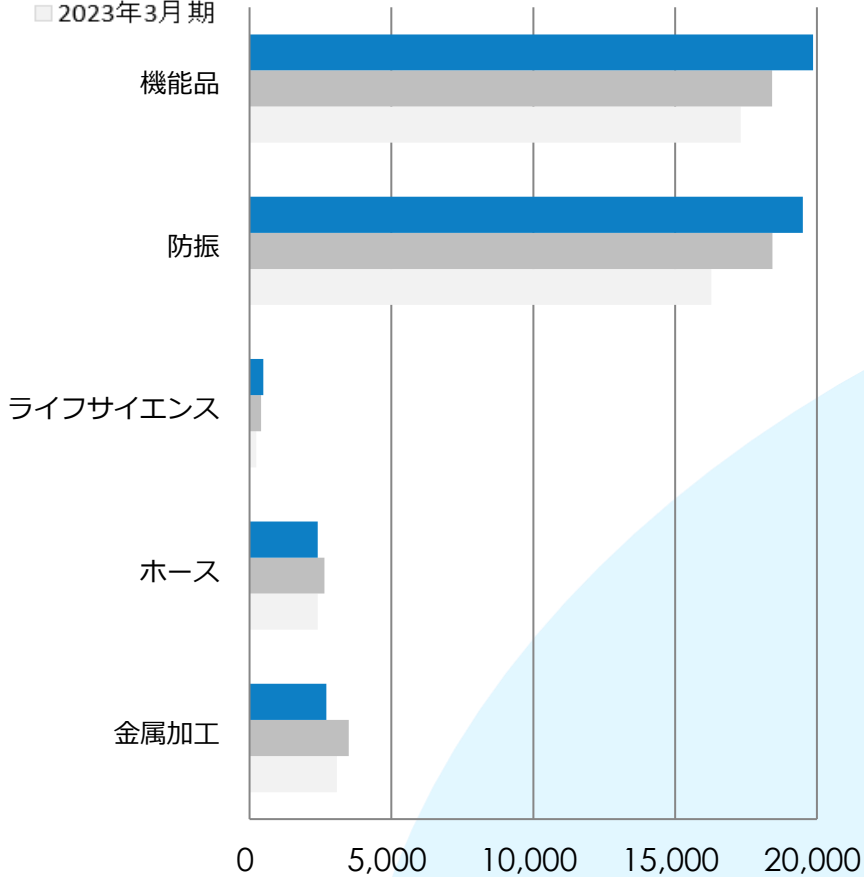
4. セグメント別・地域別の状況

4. セグメント別・地域別の状況

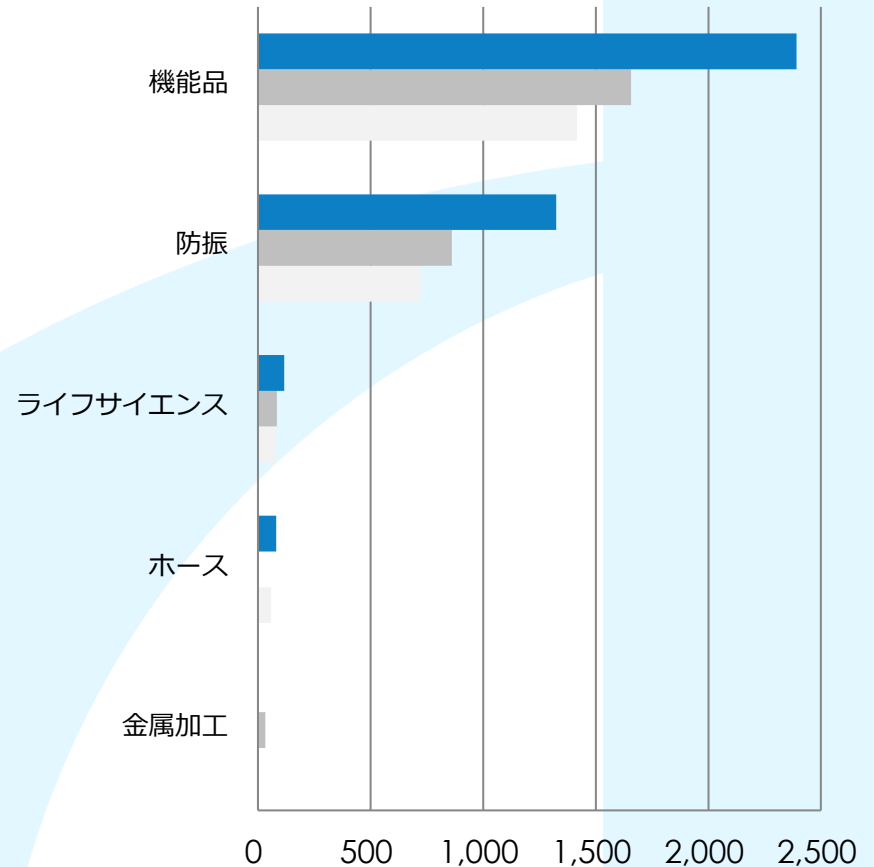
セグメント別（上期）

- 2025年3月期
- 2024年3月期
- 2023年3月期

売上高



営業利益



(単位：百万円)
※ 連結調整考慮前

事業縮小中の金属加工を除き、すべてのセグメントにおいて増益を実現

4. セグメント別・地域別の状況

地域別（上期）

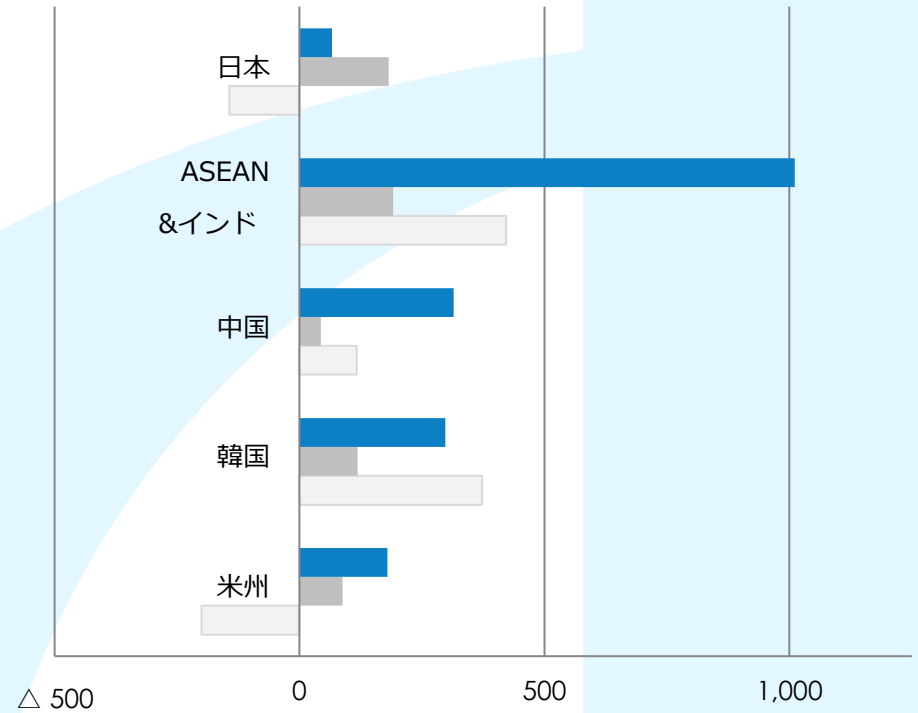
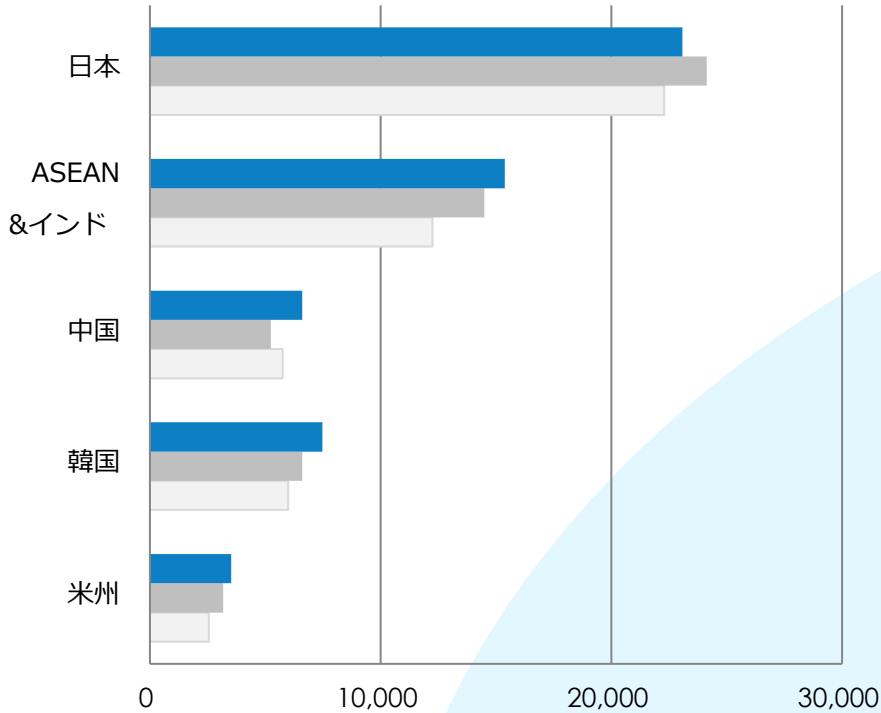
- 2025年3月期
- 2024年3月期
- 2023年3月期

売上高

営業利益

(単位：百万円)

※ 連結調整考慮前



日本は採算性向上のため非採算部品の事業縮小をするも、海外においては増収・増益を達成

5. 株主還元



5. 株主還元

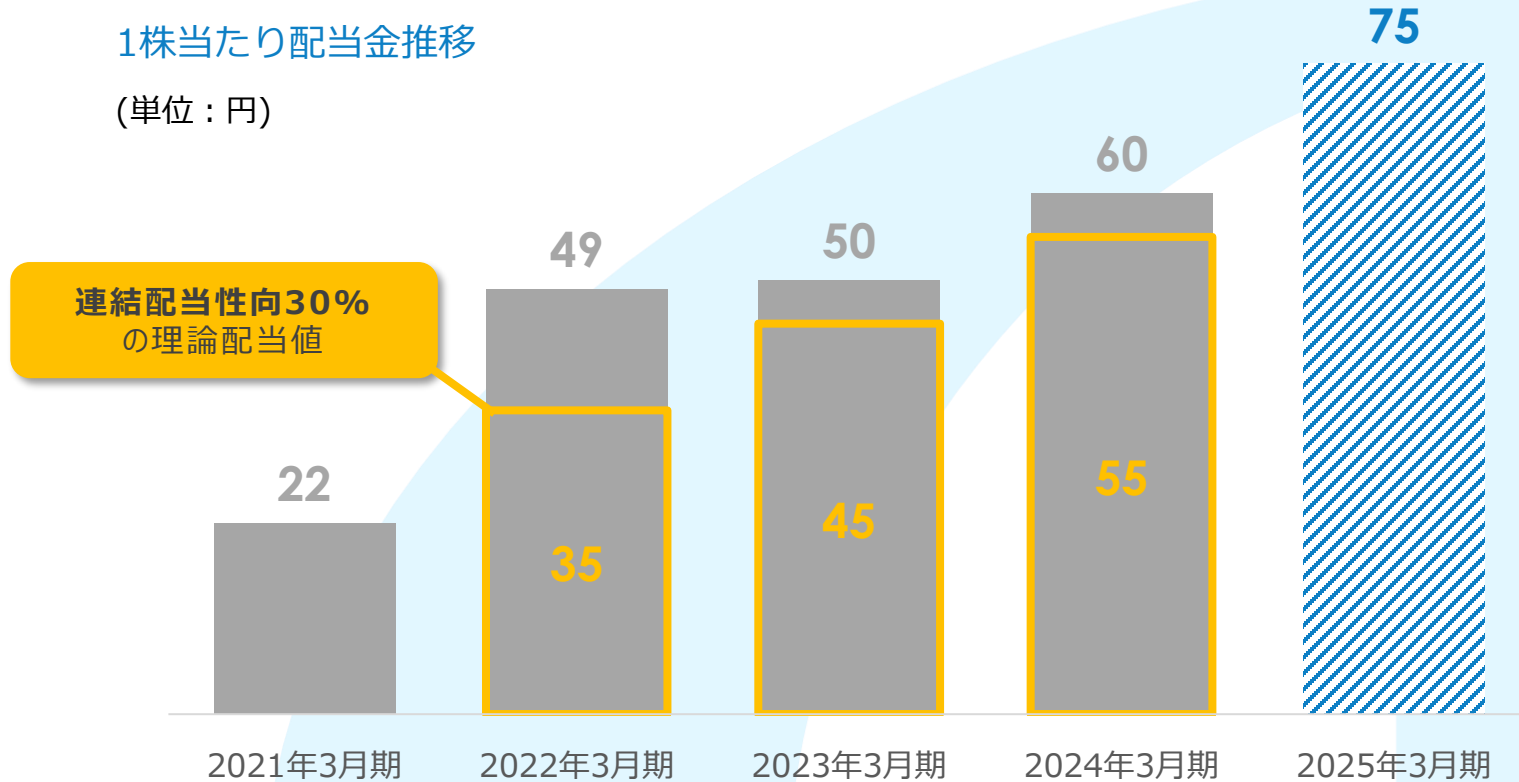
株主還元の考え方（配当政策の基本方針）

- 連結配当性向30%を目安とした安定配当を継続
- 1株当たり年間20円を下限
※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

配当金について

1株当たり配当金推移

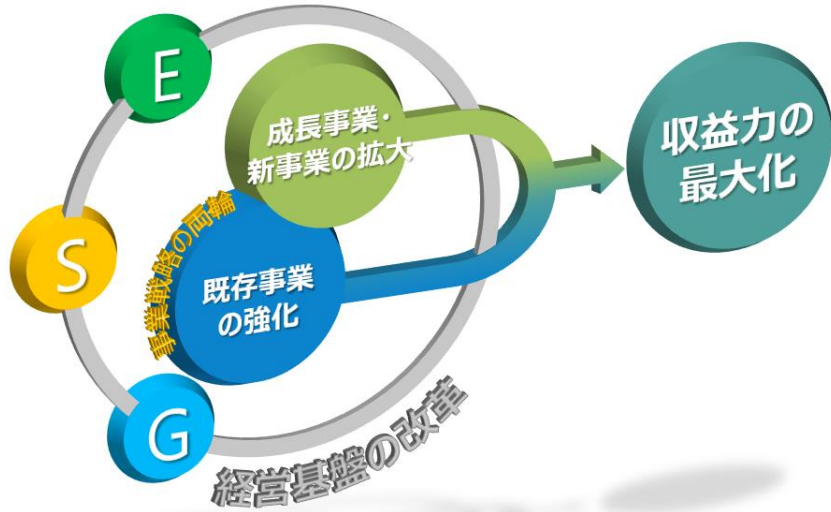
(単位：円)



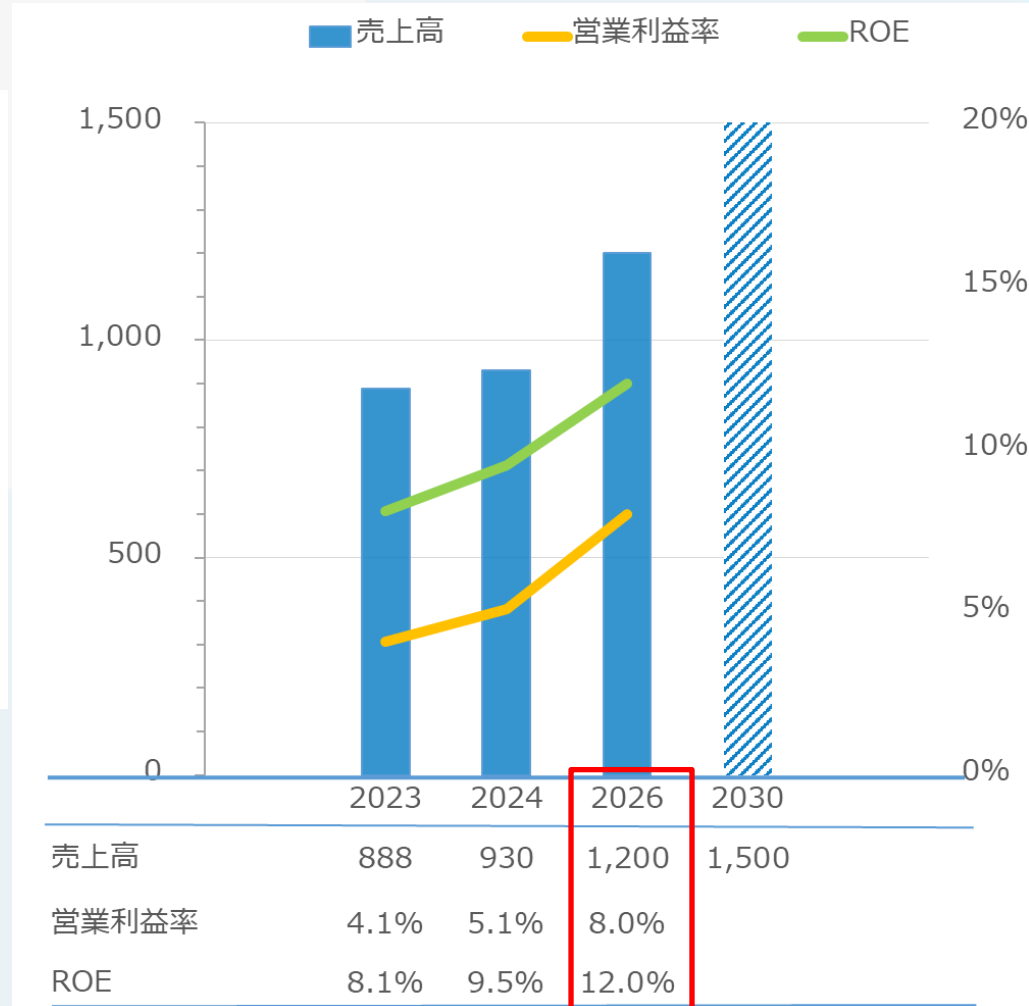
6. 新中期経営計画2026の進捗

6. 新中期経営計画2026

戦略スキーム・目標値



(単位：億円)



6. 新中期経営計画2026

既存事業の強化

ソリューションビジネスによる拡販

- シミュレーション設計
～実車評価技術/中国 R & D強化
- インド R & D機能設置

強い成長地域への拡販

- インド・インドネシアでの技術・生産体制強化

ものづくり力変革と人材育成強化

- 革新的工法の構築／自動化／IoT導入
- グローバル人材育成の強化

成長事業・新事業の拡大

インダストリアル向け製品等の拡大

ファクトリー
オートメーション

精密シールの開発/量産体制の確立

新エネルギー

水素燃料用シール・
風力発電用着雪防止コートの開発

航空/宇宙

防振マウントの開発

CASE市場への拡大

バッテリー

・進化し続けるEV製品用ホールドシート
の開発・拡販

・放熱ギャップフィラー・

大型電池用防振製品の開発・拡販

ライフサイエンス製品の拡大

バイオ

細胞培養バッグ・培地、化粧品原料

細菌検査

薬剤耐性菌検査チップの
量産体制確立、拡販

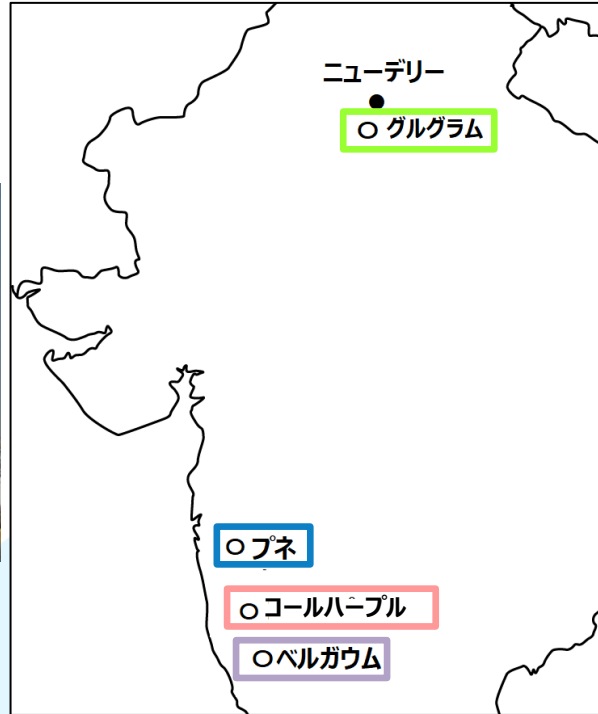
6. 新中期経営計画2026

強い成長地域への拡販 インド

プネ 工場
テクニカルセンター（準備中）



ベルガウム 鋳物工場



グルグラム 営業所（新設）

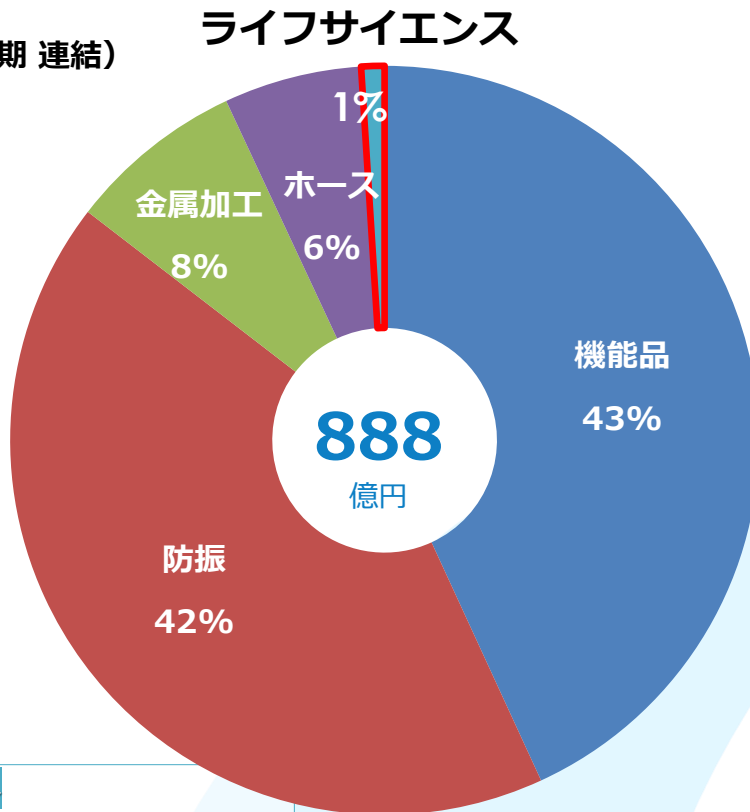


コールハーブル 鋳物工場（生産準備中）

6. 新中期経営計画2026

ライフサイエンス製品の拡大

事業別売上
(2024年3月期 連結)



機能品

ワイパーブレードドラバー

等速ジョイント用樹脂ブーツ

ダイヤフラム

防振

ダンパーブリー

V-ロッド

ビスカスマウント・キャブサスマウント

金属加工

建機用燃料タンク

建機用ドアカバー

ホース

インタークーラーホース

ウォーターホース

ライフサイエンス



培養バッグ・培地



化粧品原料

6. 新中期経営計画2026

“新化”

ライフサイエンス分野への取組み



細胞培養&評価技術



凍結乾燥技術

ヒト毛根
細胞順化培養液



細胞培養培地開発



ヒト脂肪由来
幹細胞順化培養液

Phicello
ファイセルロ



ヒト脂肪間質細胞
エクソソーム

Phisome
フィソーム



クリーンルーム環境整備



輸液
バッグ



輸液バッグ用
ゴム栓



細胞培養培地等
研究用試薬

細胞培養
バッグ



バッグ&培養培地
コラボ製品



SphereRing™



化粧品原料



凍結保存用
バッグ

1995年

2024年

ゴムから始まる独自の技術でライフサイエンスの未来を創造

6. 新中期経営計画2026

ライフサイエンス関連製品

設計、開発力でライフサイエンス市場を開拓

細胞培養バッグ



培地



化粧品原料



用途（培養、保存、運搬等）や細胞（リンパ球、間葉系幹細胞等）に合わせた自由度の高い設計、開発でトータル提案

6. 新中期経営計画2026

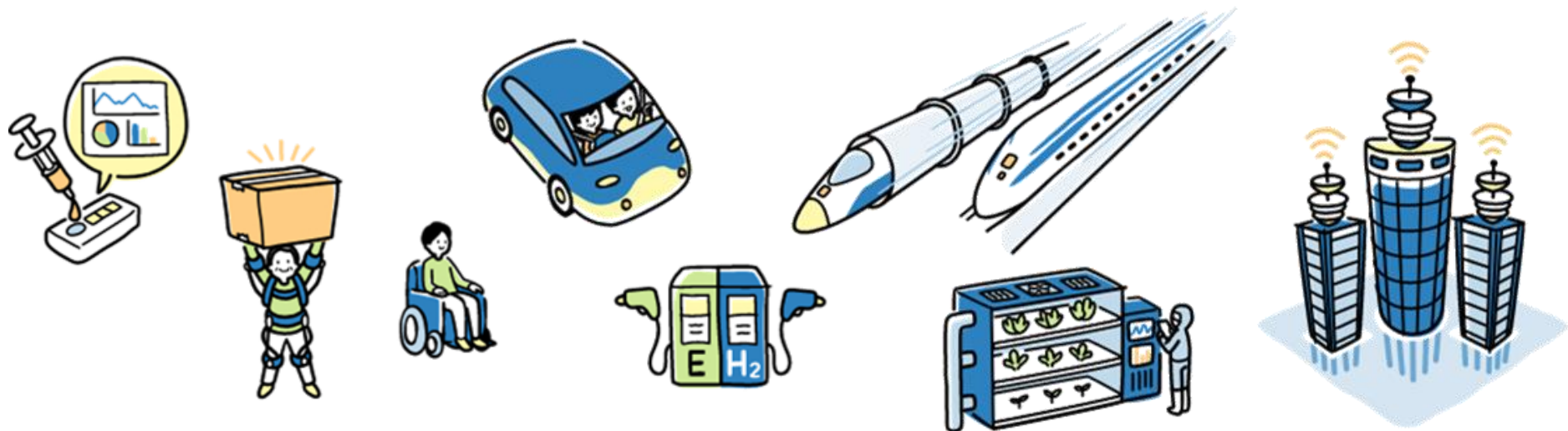
Φ (PHI) コミュニケーションHUB新設





Φ FUKOKU

あらゆる願いを、感動に変える。





Yes, We Do!

注意事項

- 本資料は、株式会社フコクおよびそのグループ会社の戦略、経営計画等の将来予測に関する記述を含んでいます。本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現時点において入手可能な情報に鑑み株式会社フコクおよびそのグループの仮定および判断に基づくものであり、その性質上、これらにはリスクや不確実性が内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果等と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に記載されている将来予測に関する記述は、本資料作成日現在時点のものであり、当社はそれ以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

2024年11月15日 株式会社フコク

Appendix

1. その他指標

研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)

